

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 東芝機械株式会社

上場取引所 東

コード番号 6104 URL <http://www.toshiba-machine.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 飯村幸生

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 栗原陽一

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 055-926-5141
平成21年12月2日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	37,209	△48.4	△281	—	△1,022	—	△3,027	—
21年3月期第2四半期	72,103	—	8,486	—	8,150	—	4,804	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△19.91	—
21年3月期第2四半期	30.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	116,076	65,485	56.4	430.71
21年3月期	132,733	68,712	51.8	451.93

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 65,485百万円 21年3月期 68,712百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22年3月期	—	3.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

10月19日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」とおり22年3月期期末配当につきましては現時点では未定となっております。これは当社グループ業績が期初予想を大きく下回る環境で推移しているためであり、今後通期業績の見通しが明確になり次第改めて公表させていただきます。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	△37.6	300	△97.4	△900	—	△3,000	—	△19.73

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	166,885,530株	21年3月期	166,885,530株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	14,846,124株	21年3月期	14,843,759株
-----------	-------------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	152,040,263株	21年3月期第2四半期	157,048,442株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 平成22年3月期 第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期におけるわが国経済は、景況感は最悪期を脱したと見られるものの、設備投資の凍結や雇用情勢の悪化、企業収益の悪化など、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況が続く、依然として予断を許さない状況にあります。

一方、海外に目を向けましても、新興国市場で回復の兆しが見えるものの、全体としては景気が低迷し、現在もその状況が続いております。

機械業界におきましても同様の影響を受け、先行きが不透明なままで推移しました。

このような状況の中、当社グループは単年度戦略を策定し、「ものづくりの原点に戻る」「経費削減を徹底する」「研究開発を加速させる」ことに注力するとともに、国内外市場での受注確保、財務体質の強化、新製品の開発、市場の開拓等に全力をあげて取り組みました。

しかしながら、当第2四半期の連結受注高は、自動車関連を始めとする多くの顧客業界の設備投資が延期・凍結されるなど厳しい状況が続いたため、前年同四半期比63.2%減の265億9千9百万円となりました。

また、連結売上高も、受注と同様の影響を受け、前年同四半期比48.4%減の372億9百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期末の連結受注残高は、前連結会計年度末に比べ17.0%減の518億5千4百万円となりました。

連結損益につきましては、固定費・変動費削減などの緊急施策の実施や経営全般にわたる合理化努力をいたしましたが、連結営業損失は2億8千1百万円（前年同四半期は連結営業利益84億8千6百万円）、連結経常損失は10億2千2百万円（前年同四半期は連結経常利益81億5千万円）となりました。また、当第2四半期連結純損失は30億2千7百万円（前年同四半期は連結純利益48億4百万円）となりました。

(2) セグメント別の概況

成形機事業（射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など）

受注面におきましては、射出成形機は、自動車関連、IT・デジタル関連業界などの国内外での低迷が続いており、設備投資が凍結される状況に変化がなく、大変厳しい市場環境の中で推移しました。

ダイカストマシンは、底打ち感はあるものの本格回復にはいたらず、押出成形機につきましても国内外経済の低迷の影響を受けました。

この結果、成形機部門全体の連結受注高は、前年同四半期比63.7%減の125億7千3百万円となりました。

一方、連結売上高につきましては、前年同四半期比62.8%減の151億7千4百万円となりました。

工作機械事業（大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤、精密加工機など）

受注面におきましては、昨年後半の世界同時不況から主要顧客業界の設備投資需要が回復せず、特に汎用工作機械の受注が大きく減少いたしました。また、精密加工機は、光学・液晶関連業界の設備投資需要低迷の影響を受けました。

この結果、工作機械部門全体の連結受注高は、前年同四半期比64.7%減の87億9千7百万円となりました。

一方、連結売上高につきましては、前年同四半期比15.4%減の168億4千3百万円となりました。

その他の事業（油圧機器、電子制御装置など）

受注面におきましては、油圧機器は、建設機械の需要が昨年以降急速に減少し、また、電子制御装置は、自動車関連、半導体産業を始めとした市況が回復せず影響を受けました。

この結果、その他部門全体の連結受注高は、前年同四半期比59.2%減の52億2千8百万円となりました。

一方、連結売上高につきましては、前年同四半期比57.7%減の58億5千5百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の資産は、前連結会計年度末に比べ166億5千7百万円減少し、1,160億7千6百万円となりました。減少の主な内訳は、受取手形及び売掛金が110億2千6百万円、仕掛品が30億5千2百万円減少しております。

負債は、前連結会計年度末に比べ134億3千万円減少し、505億9千1百万円となりました。減少の主な内訳

は、支払手形及び買掛金が92億9千2百万円、長期未払金が10億8百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末に比べ32億2千7百万円減少し、654億8千5百万円となりました。減少の主な内訳は、利益剰余金が39億3千9百万円減少したことによります。この結果、当第2四半期末の自己資本比率は56.4%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、税金等調整前四半期純損失10億4千万円に加え、仕入債務の減少、設備投資、配当金の支払等の実施があり、主に売上債権の回収、たな卸資産の減少に伴うキャッシュ・フローの増加によりその一部が相殺され、当第2四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ、15億6千9百万円増加し、282億6千3百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュフロー)

営業活動による資金は41億6千1百万円の増加となりました。これは税金等調整前四半期純損失10億4千万円、仕入債務の減少92億9千1百万円、長期未払金の減少10億7百万円等があったものの、売上債権の減少110億2千5百万円、たな卸資産の減少38億1千7百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュフロー)

投資活動による資金は17億5千5百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出17億8千4百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュフロー)

財務活動による資金は11億7千7百万円の減少となりました。これは主として、配当金の支払9億1千2百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、景況感是最悪期を脱したと見られるものの、依然として主要顧客業界の設備投資の需要が復活せず予断を許さない状況ですが、有望な新市場の開拓、新製品の市場投入、更なる合理化とコスト削減によって収支改善に努めてまいります。

通期の業績につきましては、現時点では、平成21年10月19日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

売上高及び売上原価の計上基準の変更

当第1四半期連結会計期間より、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当会計基準及び適用指針に該当する工事契約については工事進行基準（工事の進捗率の見積は原価比例法）を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,763	15,194
受取手形及び売掛金	29,963	40,989
有価証券	15,500	11,500
商品及び製品	4,246	4,639
仕掛品	17,923	20,975
原材料及び貯蔵品	297	668
繰延税金資産	1,865	2,425
その他	1,310	2,456
貸倒引当金	△259	△207
流動資産合計	83,610	98,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,227	34,020
減価償却累計額及び減損損失累計額	△21,511	△21,079
建物及び構築物（純額）	12,716	12,940
機械装置及び運搬具	30,843	30,854
減価償却累計額及び減損損失累計額	△26,566	△26,171
機械装置及び運搬具（純額）	4,276	4,683
土地	6,036	6,052
リース資産	92	79
減価償却累計額及び減損損失累計額	△15	△6
リース資産（純額）	77	72
建設仮勘定	96	317
その他	7,186	7,161
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,569	△6,453
その他（純額）	616	708
有形固定資産合計	23,818	24,775
無形固定資産		
その他	551	606
無形固定資産合計	551	606
投資その他の資産		
投資有価証券	6,163	5,934
長期貸付金	164	174
繰延税金資産	958	1,774
その他	1,085	1,170
貸倒引当金	△275	△345
投資その他の資産合計	8,096	8,708
固定資産合計	32,466	34,090
資産合計	116,076	132,733

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,961	22,253
短期借入金	11,821	12,009
未払法人税等	535	607
未払費用	3,634	4,610
製品保証引当金	82	83
その他	4,200	6,562
流動負債合計	33,236	46,126
固定負債		
長期借入金	7,500	7,500
長期末払金	46	1,054
繰延税金負債	596	—
退職給付引当金	9,077	9,179
役員退職慰労引当金	74	96
その他	60	65
固定負債合計	17,355	17,895
負債合計	50,591	64,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,484	12,484
資本剰余金	19,600	19,600
利益剰余金	42,887	46,826
自己株式	△10,037	△10,036
株主資本合計	64,935	68,875
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,421	1,061
繰延ヘッジ損益	0	6
為替換算調整勘定	△872	△1,230
評価・換算差額等合計	549	△163
純資産合計	65,485	68,712
負債純資産合計	116,076	132,733

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	72,103	37,209
売上原価	49,838	27,180
売上総利益	22,264	10,029
販売費及び一般管理費	13,778	10,310
営業利益又は営業損失(△)	8,486	△281
営業外収益		
受取利息	100	29
受取配当金	171	94
為替差益	265	—
受取賃貸料	—	84
助成金収入	—	129
その他	333	97
営業外収益合計	871	435
営業外費用		
支払利息	127	130
手形売却損	40	17
為替差損	—	281
退職給付会計基準変更時差異の処理額	251	251
持分法による投資損失	504	328
その他	283	168
営業外費用合計	1,206	1,176
経常利益又は経常損失(△)	8,150	△1,022
特別利益		
貸倒引当金戻入額	251	—
固定資産売却益	2	6
関係会社株式売却益	—	5
特別利益合計	254	11
特別損失		
固定資産処分損	17	19
投資有価証券評価損	6	10
特別損失合計	23	29
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	8,381	△1,040
法人税、住民税及び事業税	2,798	219
法人税等調整額	777	1,766
法人税等合計	3,576	1,986
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,804	△3,027

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	8,381	△1,040
減価償却費	1,167	1,255
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△292	△17
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△2	△1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△122	△102
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△130	△22
受取利息及び受取配当金	△272	△124
支払利息	127	130
手形売却損	40	17
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△5
有形固定資産除売却損益(△は益)	14	12
持分法による投資損益(△は益)	504	328
売上債権の増減額(△は増加)	2,472	11,025
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,036	3,817
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,057	△9,291
前受金の増減額(△は減少)	△135	△665
未払費用の増減額(△は減少)	△563	△966
預り金の増減額(△は減少)	55	20
長期未払金の増減額(△は減少)	△955	△1,007
その他	2	141
小計	7,271	3,505
利息及び配当金の受取額	287	124
利息の支払額	△160	△138
手形売却に伴う支払額	△40	△17
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,689	688
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,669	4,161
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,065	△1,784
有形固定資産の売却による収入	12	13
無形固定資産の取得による支出	△129	△11
投資有価証券の取得による支出	△99	—
関係会社株式の売却による収入	—	11
短期貸付けによる支出	△1	△1
短期貸付金の回収による収入	1	1
長期貸付けによる支出	△0	△11
長期貸付金の回収による収入	15	21
その他	30	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,236	△1,755

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	991	△256
長期借入れによる収入	7,500	—
長期借入金の返済による支出	△8,650	—
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△1,413	△912
その他	—	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,573	△1,177
現金及び現金同等物に係る換算差額	△246	340
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,388	1,569
現金及び現金同等物の期首残高	34,583	26,694
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,195	28,263

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	成形機 (百万円)	工作機械 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	40,797	19,388	11,917	72,103	—	72,103
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	524	1,938	2,462	(2,462)	—
計	40,797	19,912	13,856	74,566	(2,462)	72,103
営業利益	4,081	3,272	759	8,113	372	8,486

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	成形機 (百万円)	工作機械 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	15,174	16,842	5,193	37,209	—	37,209
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	662	662	(662)	—
計	15,174	16,843	5,855	37,872	(662)	37,209
営業利益又は営業損失 (△)	△1,965	1,840	△547	△672	390	△281

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

(1) 事業区分は、製品の種類・性質等の類似性に基づき区分しております。

(2) 各事業区分の主な製品

成形機 …………… 射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など

工作機械 …………… 大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤、精密加工機など

その他 …………… 油圧機器、電子制御装置など

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	60,215	6,326	5,561	72,103	—	72,103
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,837	150	3,677	9,665	(9,665)	—
計	66,053	6,476	9,239	81,769	(9,665)	72,103
営業利益	7,203	517	666	8,387	98	8,486

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	31,732	3,013	2,463	37,209	—	37,209
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,297	72	1,470	3,840	(3,840)	—
計	34,029	3,086	3,934	41,050	(3,840)	37,209
営業利益又は営業損失(△)	△560	△234	56	△737	455	△281

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …… 米国

(2) アジア …… 中国、シンガポール、香港

〔海外売上高〕

		北米	アジア	その他の地域	計
前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	I 海外売上高 (百万円)	8,289	22,104	1,714	32,108
	II 連結売上高 (百万円)	—			72,103
	III 海外売上高の連結売上高に占める割合 (%)	11.5	30.6	2.4	44.5

		北米	アジア	その他の地域	計
当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	I 海外売上高 (百万円)	4,187	11,724	1,115	17,026
	II 連結売上高 (百万円)	—			37,209
	III 海外売上高の連結売上高に占める割合 (%)	11.3	31.5	3.0	45.8

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …………… 米国、メキシコ、カナダ

(2) アジア …………… 中国、台湾、韓国、インド、マレーシア、インドネシア、タイ

(3) その他の地域 …… イギリス、ドイツ、ブラジル

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。